

### 【お話し会】

毎週水曜日、夜8時小学生のお話し会は始まります。

中高生からなる『自治会』からは、週番男女1人ずつの週番さんが出て来ています。

今年度の班長は6年生のD君。D君は5年生からの班長引継ぎで2年目になります。本来はとても照れ屋で上手く気持ちを言葉に出来ません。気が短いところもありますが、皆の意見を聞き、頑張っ

て皆から出た意見をまとめて進行していきます。今年度の目標は『思いやりの気持ちを持つ』です。絶えず些細な事で喧嘩している毎日、一緒に暮らしている友達だからこそ仲間同士思いやりの気持ちが持てたらと思います。

そこで職員から子ども達へメッセージ、毎日生活している中で、職員が気付いた良い事、頑張っている事を、毎週のお話し会で子ども達へ名前を入れて伝えます。今までは子ども達からは、「○○先生から○○してくれてありがとう。」と言って感謝の気持ちを伝えてく

れていました。けれど職員からは子どもに伝えていない事にも気がつきました。子ども達に、職員から叱られてばかりいるのではなくて、良いところを認め誉められることで、自分にも自信を持ち他人にも優しい気持ちになってくれたら

と思います。すぐには難しいと思いますが、誉められ認めてもらう事で少しずつでも、自分の今の気持ちを素直に言葉で表すことができ、自分の良いところに気付き、認める事で自信に繋がり、自分のことを好きになることが出来たら：

と思います。子ども達の中には自分に自信が持てず上手く気持ちを伝えられずにトラブルになってしまう事があります。自分のことを好きになって自分を大切に出来たら、他人にも思いやりの気持ちを持つきっかけになるのでは、と

思っています。誉めてもらった事は毎週掲示板に掲載されて皆にも見ってもらっています。最初は、自分が誉めてもらうと素直に喜べな

かった子どもも、今では発表される事が自慢にもなっています。心理を担当する職員が行っているセカンドステップでは、色んな場面を想定しての自分の気持ちの気付きや

適切な表し方、相手への伝え方の方法なども、小学生を何人かに分けたグループで話しをしています。最近では職員も、色んな実際の場面で「今どんな気持ち？」

「今どうしたらいいんやろ？」等の言葉掛けも増え、例えば怒りの気持ちなどを上手く表す事が出来なかった子どもにも「いまのが怒り。どうするんやった？」等子ども自身が気付くように促したりと、セカンドステップでのことが生活の場面でも活かせています。

そして、お話し会は自由に自分の意見を言える場でもあります。子ども達からは、「どこかに行きたい。」等の意見も出ます。今年はお湯とマクドナルドに行きました。中高生さんも一緒に大仙公園にも

行きました。中高生さんは一緒に遊んでくれます。ドッジボールをしてくれたり鬼ごっこをしてくれたりと上手に楽しく遊んでくれるので、子ども達は中高生さんが大好きです。出掛ける時には、約束事やルールは自分達が決めます。例

えば『他人に迷惑をかけない様にする』『席は譲る』等ですが、いつもはわんぱくな子ども達もマクドナルドや電車の中では、他のお客さん

に席を譲っていました。その表情はとても固く緊張していますが、とても立派だったと誉められていました。

来年の春には皆で植えたチューリップが花を咲かせる予定です。小学生と幼児さんで水やりをします。どれだけ水をやれば良いのか、どうしていいか話し合います。職員は見守りたいと思います。

(溝川)

